

# 平成30年度 第71回全国公立高等学校事務職員研究大会 山口大会

## 第1分科会 学校組織マネジメント ―学校経営への参画―

期日：平成30年7月26日（木）～27日（金）

会場：山口市民会館

### <研究発表1>

#### ★学校に勤務する教職員の多忙化解消に向けた取組（静岡県）★

教職員の多忙化の解消に向けた取組について以下の対応策を紹介。

- 1) 多忙化解消特別委員会を設置
- 2) 全教職員から多忙化解消アイデアの募集
- 3) 管理職連携委員会の組織化

そのほか、学校徴収金の債権回収に関する外部委託に関して紹介されました。実際に外部委託までには至っていないが、債権に関する学校の立場が整理され、将来委託する場合の方法などが明らかになったとのことでした。

### <研究発表2>

#### ★事務ミスゼロ！

#### ～仕事を上手に進める学校事務マニュアルについて～（秋田県）★

知事部局からの出向職員や新採職員の配置数増加により、学校事務のノウハウ継承等が課題となっていること。また、引継ぎマニュアルの様式が統一されておらず、有効活用されているとは言い難い状態。

そこで、これまで使用してきた引継書を基に会員で改善点を出し合い、共同作成を実施。共同作成を行ったことで、変更・修正があった際も、その都度更新を行い、各学校で共有できるようになったとのことでした。

### <研究発表3>

#### ★賢く使おうSNS！

#### コミュニケーションから防災対策まで（千葉県）★

SNS の情報拡散能力に着目し、学校における広報活動やコミュニケーション・ツールとしてだけでなく、危機管理や防災対策としても積極的に活用しようという内容。SNS の特徴及び国や地方自治体による活用事例の紹介を行うほか、東日本大震災以降の災害時における活用状況が提示され、中でも熊本地震での活用事例を通して、SNS の即効性や有効性をより深く研究した内容でした。

### ～山口県の観光名所～



### <基調講演>

講師：中央教育審議会 学校における働き方改革特別部会委員

教育研究家 学校マネジメントコンサルタント

NPOまちと学校の未来理事 妹尾 昌俊 氏

### <シンポジウム>

①妹尾 昌俊 氏

②山口県立豊北・下関北高等学校 校長 竹村 和之 氏

③株式会社 西京銀行 人事副部長 松村 政宏 氏

#### ★「学校の働き方改革はなぜ必要か」

#### ～学校事務職員は何にどう関わるか～★

長時間労働がもたらす影響を、参加者同士の意見交換を踏まえながら具体的に話をされました。事務職員として忙しい学校を改善するために何ができるかを、改めて考えるきっかけになったのではないかと。講演では、長時間労働が個々の職員だけでなく、人材育成や職場環境まで悪影響を及ぼしかねないと話されました。業務改善を通じて仕事を減らしていくことが必要であり、事務職員は行政職員として業務分担やその進め方、法令等に則った学校運営の推進役としての役割を通じて、学校運営に参画すべきとのことでした。

#### ★学校における働き方改革と事務職員が果たすべき役割

#### ～組織マネジメントを通じた学校経営への参画～★

パネリストから、自己紹介とともに自身の働き方改革における考え方や意見などが述べられました。学校における働き方改革は何のためかを考えたとき、教職員の健康や生命・家族のためであることはもちろん、最終的には学校の組織力を上げることにもつながっていくとのことでした。学校で唯一の行政職員である事務職員が、学校全体を俯瞰する視点を持ち、教職員との関わりを大切にしながら学校経営に関わっていくことが大切とのことでした。

文責：南稜高等学校 事務職員 田中 美里